

(4) 三島町の年表

年号(西れき)	主なできごと
縄文時代中期 ～後期	三島町に人びとが住みはじめた。(川井佐渡畑、 西方銭森、間方堂平、大石田居平遺跡など)
縄文時代晩期～ 弥生時代前期	荒屋敷遺跡に人びとが生活していた。
大同 2年(807)	三島町に仏教文化はじまる。
建久 1年(1190)	三島町が武士に支配された。
慶長 8年(1605)	徳川幕府の直轄地となる。
天明 4年(1784)	大飢きんで多くの人が死んだ。
明治 5年(1872)	大谷南小学校がお寺に開校。(のち宮下小学校)
明治 6年(1873)	西方小学校がお寺に開校。
明治21年(1888)	「村」が「大字」になる。(川井村→大字川井)
明治22年(1889)	西川村外ニヶ村組合村(川西村・原谷村・三谷 村)と川西村となる。
明治26年(1900)	沼田街道(旧国道)が完成。
大正 6年(1917)	川西村が西方村に名前をかえた。
昭和16年(1941)	鉄道が宮下まで開通。
昭和17年(1942)	西川村外ニヶ村組合村が宮下村となる。
昭和21年(1946)	宮下発電所が運転開始。
昭和22年(1947)	宮下中学校と西方中学校が開校。
昭和26年(1951)	福島県立宮下病院ができた。
昭和30年(1955)	宮下村と西方村があわさり、三島村が生まれた。
昭和36年(1961)	三島村が三島町となる。
昭和49年(1974)	町民運動場がオープン。
昭和50年(1975)	三島大橋が完成。
昭和54年(1979)	役場と町民センターが完成。
昭和56年(1981)	西方小学校改築。
平成 3年(1991)	宮下小学校改築。